



2021年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 ブックオフグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9278 URL <https://www.bookoffgroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 康隆
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 河本 宏文 TEL 042-769-1513
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	58,268	△6.5	737	△11.1	1,113	△7.6	△44	—
2020年3月期第3四半期	62,308	4.6	828	△36.1	1,204	△32.0	559	△40.8

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 △11百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 510百万円 (△45.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	△2.53	—
2020年3月期第3四半期	32.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第3四半期	42,219	12,731	30.0
2020年3月期	41,535	12,848	30.7

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 12,645百万円 2020年3月期 12,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	—	6.00	6.00
2021年5月期	—	0.00	—	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	—	1,300	—	1,650	—	200	—	11.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 決算期変更の経過期間となる2021年5月期は、2020年4月1日から2021年5月31日までの14ヶ月決算となるため、対前期増減率は記載しておりません。

なお、第4四半期累計（2020年4月1日から2021年3月31日）の連結業績につきましては、売上高81,000百万円、営業利益1,000百万円、経常利益1,300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益0百万円を見込んでおります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期3Q	20,547,413株	2020年3月期	20,547,413株
② 期末自己株式数	2021年5月期3Q	3,100,000株	2020年3月期	3,100,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期3Q	17,447,413株	2020年3月期3Q	17,447,413株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中における将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社グループは創業時より「事業活動を通じての社会への貢献」と「全従業員の物心両面の幸福の追求」の2つを経営理念としております。また、当社グループが当連結会計年度に30年目を迎えるにあたって中期経営方針を策定し、この方針の中で改めて経営理念に立ち返り、私たちのミッションとして「多くの人々に楽しく豊かな生活を提供する」を掲げております。

このミッションに基づき、拡大するリユース市場の中で私たちの強さを活かし、「本を中核としたリユースのリーディングカンパニー」として、世の中の変化に対応して最も多くのお客様がご利用されるリユースチェーンとなることを目指します。

そのための基本戦略として次の2つを掲げております。

基本戦略Ⅰ：個店を磨く

店舗型とネット型それぞれのリユースサービスを磨き上げることが、最も多くのお客様にご利用いただけるリユースのリーディングカンパニーとなるための出発点と考え、各店舗別パッケージ・サービスに応じた磨き込みを行います。

基本戦略Ⅱ：総力戦で取り組む

これまでの当社グループは店舗と店舗以外の事業がそれぞれ個別にサービスを提供していましたが、今後は会員制度や販売・買取のプラットフォーム、それらを支えるシステム等を統合し共通化してまいります。そして、各サービスで蓄積された会員・商品情報、運営ノウハウ等の資産を全てのサービスで活用いたします。これらを実現するのが「ひとつのBOOKOFF」構想です。

このような経営方針の下、当第3四半期連結累計期間にBOOKOFF SUPER BAZAAR 1号京都伏見店とマレーシア6号店となるJalan Jalan Japan Tesco Rawang店を出店しました。

また、「ひとつのBOOKOFF」構想を実現するべく、アプリ会員向けのサービス施策の充実や電子買取システムのフランチャイズ加盟店向け展開のほか、ECサイト「BOOKOFF Online」を活用したオムニチャネル化並びにO2O戦略を推進するべく、継続的に投資を行っております。

当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言並びに休業要請を受け、対象地域・店舗を中心にグループ直営店の過半の店舗を全日休業もしくは土日祝日休業とした結果、既存店売上高は前年を大きく下回りました。なお、5月中旬からは営業時間や売場面積を縮小するとともに、感染防止に最大限の配慮をしながら一部店舗を除き順次営業を再開し6月上旬の時点で、ほぼ通常営業となりました。国内グループ直営既存店の月別売上高は、4月、5月は前年同月を大きく下回ったものの、6～8月及び10月は前年同月を上回っております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高58,268百万円（前年同四半期比6.5%減）、営業利益737百万円（前年同四半期比11.1%減）、経常利益1,113百万円（前年同四半期比7.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失44百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益559百万円）となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純損失の要因は新型コロナウイルス感染症による損失の計上によるものです。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は24,971百万円（前連結会計年度末は23,704百万円）となり、1,266百万円増加しました。新型コロナウイルス感染症対策のための資金調達等により現金及び預金が705百万円増加したことに加えて、商品が416百万円増加したことが主な要因です。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産残高は17,248百万円（前連結会計年度末は17,830百万円）となり、582百万円減少しました。投資その他の資産が16百万円増加した一方、有形固定資産が421百万円、無形固定資産が177百万円減少したことが主な要因です。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債残高は29,488百万円（前連結会計年度末は28,687百万円）となり、800百万円増加しました。新型コロナウイルス感染症対策等の資金需要に対し銀行借入で対応したため借入金が増加したことに加えて、その他流動負債が580百万円増加した一方、固定負債のリース債務が217百万円減少したことが主な要因です。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は12,731百万円（前連結会計年度末は12,848百万円）となり、116百万円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと及び剰余金の配当を実施したことが主な要因です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月7日に発表した公表数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,094	6,800
売掛金	1,898	2,041
商品	13,129	13,545
その他	2,583	2,583
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	23,704	24,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,187	3,987
リース資産(純額)	1,359	1,167
その他(純額)	727	697
有形固定資産合計	6,273	5,852
無形固定資産		
のれん	793	717
その他	1,210	1,108
無形固定資産合計	2,003	1,825
投資その他の資産		
差入保証金	7,561	7,479
その他	2,052	2,151
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	9,553	9,570
固定資産合計	17,830	17,248
資産合計	41,535	42,219

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	459	698
短期借入金	5,960	7,931
1年内返済予定の長期借入金	3,803	4,231
リース債務	417	372
未払法人税等	282	287
売上割戻引当金	512	452
店舗等閉鎖損失引当金	27	23
その他の引当金	497	188
その他	4,738	5,318
流動負債合計	16,697	19,502
固定負債		
長期借入金	8,058	6,340
店舗等閉鎖損失引当金	9	—
資産除去債務	2,358	2,339
リース債務	1,181	964
その他	381	340
固定負債合計	11,990	9,985
負債合計	28,687	29,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	6,485	6,485
利益剰余金	8,550	8,402
自己株式	△2,343	△2,343
株主資本合計	12,792	12,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	73
為替換算調整勘定	△55	△71
その他の包括利益累計額合計	△24	1
非支配株主持分	79	85
純資産合計	12,848	12,731
負債純資産合計	41,535	42,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	62,308	58,268
売上原価	24,506	22,521
売上総利益	37,801	35,747
販売費及び一般管理費	36,972	35,010
営業利益	828	737
営業外収益		
持分法による投資利益	15	—
設備賃貸収入	249	242
自動販売機等設置料収入	100	87
古紙等リサイクル収入	261	155
助成金収入	21	190
その他	93	77
営業外収益合計	740	754
営業外費用		
支払利息	119	120
持分法による投資損失	—	5
設備賃貸原価	230	228
その他	15	23
営業外費用合計	365	378
経常利益	1,204	1,113
特別損失		
店舗等閉鎖損失	46	7
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	27	5
固定資産除却損	117	35
減損損失	30	31
災害による損失	28	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	778
特別損失合計	250	858
税金等調整前四半期純利益	954	255
法人税、住民税及び事業税	247	347
法人税等調整額	119	△57
法人税等合計	366	289
四半期純利益又は四半期純損失(△)	587	△34
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	10
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	559	△44

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	587	△34
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	14
為替換算調整勘定	△31	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	△53	27
その他の包括利益合計	△76	22
四半期包括利益	510	△11
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	484	△18
非支配株主に係る四半期包括利益	25	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する追加情報の発生及び前事業年度の有価証券報告書に記載した情報等について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。